

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍			中学書写		
	1 2 3	2 3 4	3 4 5	4 5 6	5 6 7	6 7 8
	1 3 2	2 4 3	3 5 4	4 6 5	5 7 6	6 7 8
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～筆順の原則や行の整え方を考える活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～楷書と行書の使い分けを考える活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～情報を整理したノートや、文字を使い分けた願書を書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の連続や省略、楷書と行書の筆使いの違いに注意して書く活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～字形や配列に気を付けて書く活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～書体を工夫したポスターや、絵はがきを書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～毛筆の学習の後、硬筆による仮名で好きな言葉を書く活動</p> <p>第2学年～毛筆の学習の後、硬筆による掲示物を書く活動</p> <p>第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、効果的にノートに情報を書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、次のような実生活との関連を図った学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～職場訪問の依頼状やお礼の手紙</p> <p>第2学年～防災訓練の計画書 第3学年～文化祭の展示作品</p>					
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、例えば次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～楷書と仮名の筆使いを学習した後に、行書の筆使いを取り扱う。</p> <p>第2学年～行書の字形の整え方を学習した後に、行書の配列や配置を取り扱う。</p> <p>第3学年～多様な文字について学習した後に、場面や相手に応じた文字の使い分けを取り扱う。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>・総ページは、145 ページで、前回より約 36% 増となっている。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、「さんきち」や「走れメロス」、「竹取物語」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。</p> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学習の進め方について、「調べよう」、「確かめよう」、「広げよう」の三段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。</p> <p>○ 使用上の便宜については、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。また、全ての生徒が学習しやすいよう、見やすい配色や字の大きさにするなど工夫されている。</p>					
そ の 他						

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	学校図書			中学書写		
	1 2 3	2 3 4	3 4 5	4 5 6	5 6 7	6 7 8
	1 3 2	2 4 3	3 5 4	4 6 5	5 7 6	6 7 8
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～楷書と行書の違いに注意して書く活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～目的や場面に合った書体を考える活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～職業体験の礼状、筆記用具を工夫した壁新聞を書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～筆順や字形に注意することや、仮名と調和させて漢字を書く活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～楷書との違いに注意して書く活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～筆記用具を工夫した掲示物やのし紙を書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～毛筆の学習の後、硬筆による古典の歌やことわざを書く活動</p> <p>第2学年～毛筆の学習の後、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第3学年～今までの毛筆の学習を生かし、用具を工夫し寄せ書きを書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、次のような実生活との関連を図った学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ことわざや文学作品の一部</p> <p>第2学年～お知らせのポスター 第3学年～近代の短歌を書いた短冊</p>					
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、例えば次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～楷書の仮名の筆使いを学習した後、行書の筆使いを取り扱う。</p> <p>第2学年～行書の点画の連続を学習した後、行書と平仮名の調和を取り扱う。</p> <p>第3学年～毛筆と硬筆の使い分けを学習した後に、短冊などの作品づくりを取り扱う。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>・総ページは、122 ページで、前回より 97% 増となっている。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、「竹取物語」や「少年の日の思い出」、「枕草子」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（第1・2学年）。</p> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学習の進め方について、「試し書き」、「練習」、「まとめ書き」、「硬筆で書く」の四段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。</p> <p>○ 使用上の便宜については、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。また、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにするなど工夫されている。</p>					
そ の 他						

国語科（書写）調査研究報告書

書名		三省堂		中学書写			
観点		1 2 3	2 3 4	3 4 5	4 5 6	5 6 7	6 7 8
点		1 3 2	2 4 3	3 5 4	4 6 5	5 7 6	6 7 8
取 扱 内 容		<p>○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～筆順の原則や、漢字と仮名の調和を考える活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～立て看板に適した書体を考える活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～文字を使い分けて広告を書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の変化や連続、仮名の字形と筆使いに気を付けて書く活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～筆順の確認や、楷書との違いを考えて書く活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～文字の使い方を工夫したポスターや、掲示物を書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～毛筆の学習の後、硬筆によるノートに横書きで文字を書く活動</p> <p>第2学年～毛筆の学習の後、硬筆による文学作品の一部を書く活動</p> <p>第3学年～これまでの毛筆の学習を生かして、効果的にポスターを書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、次のような実生活との関連を図った学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～行事の目標や本の帯 第2学年～座右の銘</p> <p>第3学年～自分で選んだ言葉を書いた卒業記念冊子</p>					
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等		<p>○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、例えば次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～楷書と仮名の筆使いと字形を学習した後、行書の筆脈を取り扱う。</p> <p>第2学年～行書の字形を学習した後に、行書と仮名の調和を取り扱う。</p> <p>第3学年～文字の使い方の工夫について学習した後に、相手や目的に応じた書体の使い分けを取り扱う。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>・総ページは、118 ページで、前回より約 31% 増となっている。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等		<p>○ 学習意欲を高める工夫については、「竹取物語」や「小さな手袋」、俵万智の短歌など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。</p> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、「考えよう・話し合おう」、「書いて確かめよう」、「振り返ろう」の三段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。</p> <p>○ 使用上の便宜については、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。また、全ての生徒が学習しやすいよう、色の使い方や色覚特性に配慮するなど工夫されている。</p>					
そ の 他							

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	教育出版			中学書写		
	1 2 3	2 3 4	3 4 5	4 5 6	5 6 7	6 7 8
	1 3 2	2 4 3	3 5 4	4 6 5	5 7 6	6 7 8
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の特徴やその連続を考える活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～配列を理解し、目的や場面に合った書体を考える活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～文字表現を工夫した手紙や書体を工夫したカレンダーを書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の筆使いや字形、仮名との調和に注意して書く活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～点画の連続、配列に注意して書く活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～行書と仮名を調和させた作品を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～毛筆の学習の後、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第2学年～毛筆の学習の後、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、次のような実生活との関連を図った学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～合唱発表会のポスターや案内表示</p> <p>第2学年～発表会の立て看板 第3学年～メッセージカード</p>					
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、例えば次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～楷書や仮名の筆使いと字形を学習した後に行書の筆脈を取り扱う。</p> <p>第2学年～行書の点画の省略を学習した後に行書と仮名の調和を取り扱う。</p> <p>第3学年～行書の点画と連続について学習した後に自ら選択した課題を取り扱う。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>・総ページは、142 ページで、前回より約 26% 増となっている。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、「竹取物語」や「枕草子」、「おくのほそ道」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。</p> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学習の進め方について、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」の三段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。</p> <p>○ 使用上の便宜については、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。また、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにするなど工夫されている。</p>					
そ の 他						

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	光村		中学書写			
	1 2 3	2 3 4	3 4 5	4 5 6	5 6 7	6 7 8
	1 3 2	2 4 3	3 5 4	4 6 5	5 7 6	6 7 8
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～字形の整え方や、配列を考える活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～楷書と行書の使い分けを考える活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～身近な文字を調べ掲示物を書くことや、筆記用具を選択し作品を書く活動を通して、多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の変化や連続、楷書と行書の筆使いの違いに気を付けて書く活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～楷書との違いを考えて書く活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～書体を工夫した掲示物、卒業記念作品を書く活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～毛筆の学習の後、硬筆による文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第2学年～毛筆の学習の後、硬筆による古典の文学作品の一部を書く活動</p> <p>第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、効果的に卒業記念作品を書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、次のような実生活との関連を図った学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～植物の観察日記の一部 第2学年～音楽祭を知らせるポスター</p> <p>第3学年～選択した筆記用具を効果的に使って書いた自分史</p>					
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、例えば次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～楷書や仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆脈を取り扱う。</p> <p>第2学年～行書の点画の連続を学習した後に、行書と仮名の調和を取り扱う。</p> <p>第3学年～行書の点画の変化と連続について学習した後に、自ら選択した課題を取り扱う。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>・総ページは、120ページで、前回より約58%増となっている。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、「さくらさくら」や「平家物語」、「枕草子」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。</p> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学習の進め方について、「目標」、「学習の窓」、「学習を振り返る」の三段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。</p> <p>○ 使用上の便宜については、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。また、全ての生徒が学習しやすいよう、明確に識別できる色の組合せにするなど工夫されている。</p>					
そ の 他						